病理関連製品

フロン排出抑制法　第一種特定製品　簡易点検方法

● フロン排出抑制法に伴う日常点検について

2015年4月1日よりフロンガスを使用している装置で家庭用を除く業務用装置は、フロン排出抑制法（以下、改正フロン法）により、3ヶ月を超えない範囲で、1回以上の簡易点検をすることが義務化されました。本ガイドでは、改正フロン法に基づき、使用者・管理者様による日常点検事項の確認方法、日々のメンテナンス方法またご使用上の注意点に関して記載させていただきます。

● 簡易点検項目

点検項目		推奨	基準
1	庫内温度確認・記録	2 回/日以上	4 半期に 1 回以上
2	庫内霜付きの確認	1 回/日以上	
3	周囲環境の確認		
4	熱交換機、配管の油にじみの有無		
5	異常振動、異常音の有無		

また改正フロン法により、冷媒ガス取り扱いを伴う機器メンテナンス・修理等の記録、日常の点検記録につきましては、機器の廃棄時まで保存することが義務となりました。
また、機器に異常が見受けられた場合、使用を停止して速やかに修理することが義務付けられております。

PHC 株式会社
国内営業本部　病理営業課
tel. 0120-878-279
wg-inq_epredia@ml.phchd.com
https://www.phchd.com/jp/epredia

●簡易点検項目

1.　温度の確認
設定温度と表示温度に大きな相違がないことを確認し、記録します。
機種ごとの表示の詳細につきましては、取扱説明書をご参照ください。

2.　庫内霜付きの確認
ウィンドウの縁や庫内の霜付き状態に偏りがないことを確認します。

3.　周囲環境の確認
機器周辺について、取扱説明書にある以下の環境条件を満たしていること。
・外気温度条件
・設置スペース
・機器周辺における危険物等の有無
・庫内にてご使用になる品目の注意事項等

4.　熱交換機、配管の油にじみの有無
熱交換機、圧縮機配管に以下の異常がないことを確認します。
※対象機器の圧縮機配管は外部より確認することができないため、ガイドでは熱交換器の油のにじみ等の確認のみを行います。
・熱交換器に埃等の付着がないこと。
・熱交換器清掃。
・熱交換器に結露等異常がないことを確認します。
・熱交換器に油染み等の異常がないことを確認します。
・目視確認範囲における著しい腐食等の異常がないこと。

熱交換機の位置の詳細は、別紙をご参照ください。

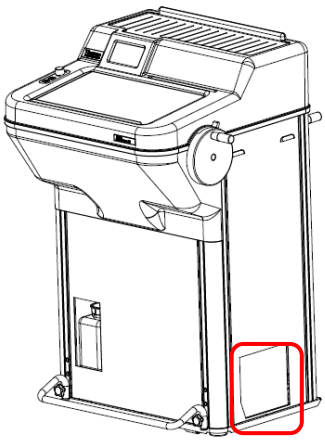
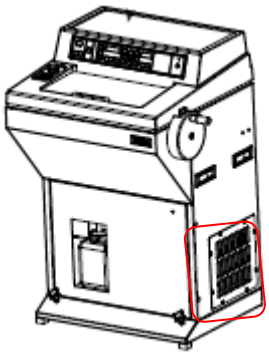
5.　異常振動・異常音の有無
機器本体より振動や異常音が発生していないことを確認します。
特に冷却ファン周辺は異常時に音がすることがありますので、接触音や騒音の増加がないことを確認してください。
※設置場所を移動させた場合など、機器の水平が出ていないために振動の症状が出ることがあります。

PHC 株式会社
国内営業本部　病理営業課
tel. 0120-878-279
wg-inq_epredia@ml.phchd.com
https://www.phchd.com/jp/epredia

別紙
病理関連製品

第一種特定製品の熱交換器の位置

クリオスタット

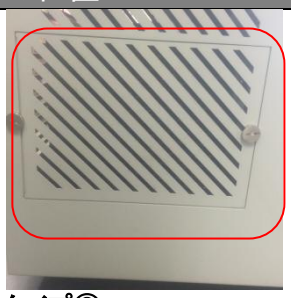
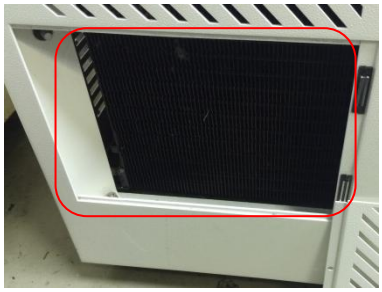
装置名	熱交換器の位置	
クリオスターNX70 クリオスターNX50	 正面下の扉を開けます。	 （熱交換器）
クリオトーム FSE		 （熱交換器）
クリオトーム クリオトーム E クリオトーム ME クリオトーム SM E		

- 熱交換機とその周辺に油によるにじみがないことを確認します。
- 万が一油漏れが発生していた場合、下方に流れ落ちますので、下部を念入りに確認します。
- 埃がついている場合は、掃除機で吸い取ってください。

PHC 株式会社
国内営業本部　病理営業課
tel. 0120-878-279
wg-inq_epredia@ml.phchd.com
https://www.phchd.com/jp/epredia

クリオスタット（続き）

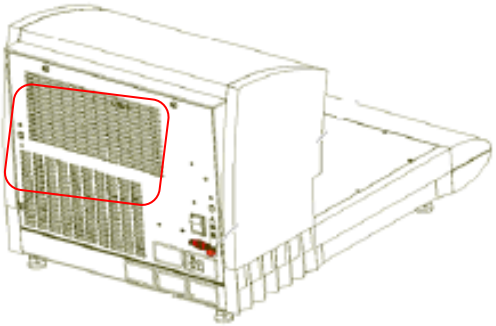
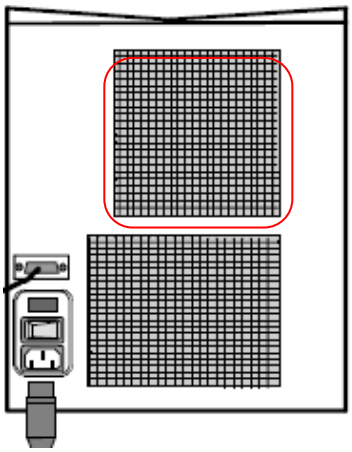
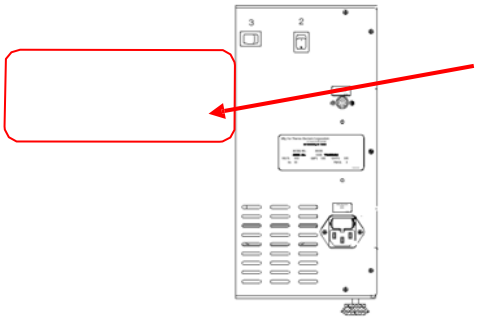
<table>
<tr><th>装置名</th><th colspan="2">熱交換器の位置</th></tr>
<tr><td rowspan="2">クリオスタット HM525NX
クリオスタット HM550
クリオスタット HM525

★ 熱交換機収納部のパネルは、向かって左側面にあります。
★ 収納部のパネルはマグネット式（タイプ A）とねじ留め式（タイプ B）があります。</td><td>
タイプ①
パネルを右の磁石からずらすように取り外します。</td><td> 
タイプ②
2 つのネジをマイナスドライバーで外し、パネルを取り外します。</td></tr>
<tr><td colspan="2"> 
熱交換器</td></tr>
<tr><td>クリオスターHM560</td><td colspan="2">
熱交換器への開口部がせまいため、掃除機のノズルが届きにくい場合は、試験管洗浄用などの細いブラシでほこりを取り除いてください。</td></tr>
</table>

- 熱交換機とその周辺に油によるにじみがないことを確認します。
- 万が一油漏れが発生していた場合、下方に流れ落ちますので、下部を念入りに確認します。
- 埃がついている場合は、掃除機で吸い取ってください。

PHC 株式会社
国内営業本部　病理営業課
tel. 0120-878-279
wg-inq_epredia@ml.phchd.com
https://www.phchd.com/jp/epredia

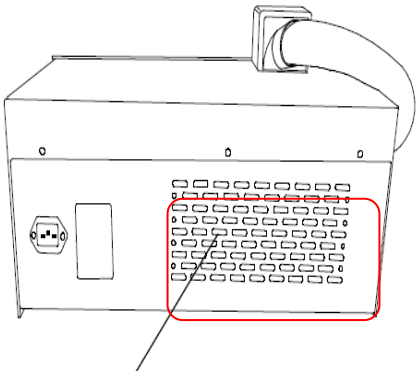
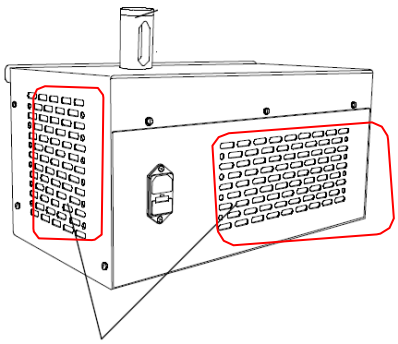
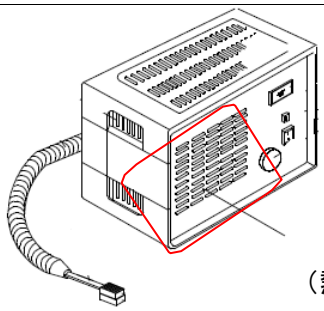
パラフィンブロック作製装置（コールドモジュール）

装置名	熱交換器の位置
ヒストスター	 （熱交換器）
EC350-2	 （熱交換器）
ヒストセンター3	 熱交換器はこの位置にあります。コールドプレート背面の電源スイッチ等のパネルの左側です。

- 熱交換機とその周辺に油によるにじみがないことを確認します。
- 万が一油漏れが発生していた場合、下方に流れ落ちますので、下部を念入りに確認します。
- 埃がついている場合は、掃除機で吸い取ってください。

PHC 株式会社
国内営業本部　病理営業課
tel. 0120-878-279
wg-inq_epredia@ml.phchd.com
https://www.phchd.com/jp/epredia

試料凍結ユニット

装置名	熱交換器の位置
ファーストフリージングユニット KS35R KS35S KS35SL	 （熱交換器）
クーリングユニット CU65	 （熱交換器）
フリージングユニット K300 K400	 （熱交換器）

- 熱交換機とその周辺に油によるにじみがないことを確認します。
- 万が一油漏れが発生していた場合、下方に流れ落ちますので、下部を念入りに確認します。
- 埃がついている場合は、掃除機で吸い取ってください。

202604

PHC 株式会社
国内営業本部　病理営業課
tel. 0120-878-279
wg-inq_epredia@ml.phchd.com
https://www.phchd.com/jp/epredia